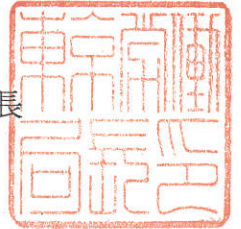


関係団体の長 殿

東京労働局長



「職場の健康診断実施強化月間」の実施に関する協力依頼について

時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃から労働基準行政の推進に格段の御配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号。）に基づく定期健康診断等については、統計調査の結果等を見ると、小規模事業場においては実施率がいまだ低調であり、また、健康診断の結果についての医師の意見聴取及びその意見を勘案した就業上の措置（以下「事後措置等」という。）の実施率が非常に低調であること等を踏まえ、法に基づく健康診断及び事後措置等の実施を改めて徹底するため、平成25年度から全国労働衛生週間準備月間である9月を「職場の健康診断実施強化月間」（以下「強化月間」という。）と位置付け、集中的・重点的な指導を行っているところです。

つきましては、貴職におかれましても、強化月間の趣旨を御理解の上、事業場の健康診断と事後措置が適切に行われるよう、関係機関等を通じた事業場に対する周知啓発について、特段の御配慮をお願いいたします。

参考資料：事業場の健康診断と事後措置について（別添）

（東京産業保健総合支援センター発行 平成30年度版労働衛生のハンドブックより抜粋）



## (参考)

### 定期健康診断 [労働安全衛生規則第44条]

常時使用する労働者に対し、1年以内ごとに1回、定期健康診断（下表の項目）の実施義務があります。

- ①定期健康診断は、労働者が雇入時健康診断や海外派遣労働者健康診断等を受診している場合は、当該健康診断実施日から1年間に限り、その者が受診済の同一項目に限り省略できます。
- ②定期健康診断を実施すべき時期に、労働者が、育児休業、療養等により休業中の場合には、定期健康診断を実施しなくてもさしつかえありませんが、この場合、休業終了後は速やかに当該労働者に対し、定期健康診断を実施しなければなりません。

健康診断項目	下記基準に該当し、かつ、 <u>医師</u> が必要でないと認めるときは、省略等が可能。
1. 既往歴及び業務歴の調査	省略不可
2. 自覚症状及び他覚症状の有無の検査	省略不可
3. 身長、体重、腹囲、視力及び聴力の検査	身長：20歳以上の者 体重：省略不可 腹囲：下記のいずれかに該当する者 一 40歳未満の者（35歳の者を除く。） 二 妊娠中の女性その他の者であって、その腹囲が内臓脂肪の蓄積を反映していないと診断された者 三 BMI（体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)）が20未満である者 四 自ら腹囲を測定し、その値を申告した者（BMIが22未満の者に限る。） 視力：省略不可 聴力の検査：45歳未満の者（35歳及び40歳の者を除く。）については、左記以外の医師が適当と認める方法（音叉による検査等）でも可。（聴力の検査自体の省略は不可）
4. 胸部エックス線検査及び喀痰（かたん）検査	胸部エックス線検査：40歳未満の者（20歳、25歳、30歳及び35歳の者を除く。）で、下記のいずれにも該当しない者 一 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令第12条第1項第1号に掲げる者 二 じん肺法第8条第1項第1号又は第3号に掲げる者 喀痰（かたん）検査：下記のいずれかに該当する者 一 胸部エックス線検査によって病変の発見されない者 二 胸部エックス線検査によって結核発病のおそれがないと診断された者 三 胸部エックス線検査の省略基準に該当する者
5. 血圧の測定	省略不可
6. 貧血検査	40歳未満の者（35歳の者を除く。）
7. 肝機能検査	40歳未満の者（35歳の者を除く。）
8. 血中脂質検査	40歳未満の者（35歳の者を除く。）
9. 血糖検査	40歳未満の者（35歳の者を除く。）
10. 尿検査	省略不可
11. 心電図検査	40歳未満の者（35歳の者を除く。）



# 一般健康診断の実施と事後措置等の流れ

